

# 「道後温泉別館 飛鳥乃湯泉」 2階特別浴室で使用する湯帳を発表



(左から)日光代表取締役社長、宮崎会長、野志市長

9月26日にオープンする「道後温泉別館 飛鳥乃湯泉」で使用する湯帳が決定し、7月6日に市役所でお披露目されました。湯帳は、「ユカタビラ」とも言い、一定以上の身分の人が身につけたと考えられ、ゆかたの原形になったものです。道後温泉誇れるまちづくり推進協議会と帝人フロンティア(株)が先端技術を使った湯帳を共同開発し、「道後温泉別館 飛鳥乃湯泉」指定管理者の道後温泉コンソーシアムが使用を決定しました。

野志市長は湯帳を触り「肌触りがさらっとしていてすごく良いものができました。今からオープンがとて楽しみ」と述べました。湯帳は道後温泉本館の又新殿を忠実に再現した2階特別浴室で貸し出され、古代の入浴を体験でき、手術をして跡が気になる人や、肌を見せたくない外国人観光客にも楽しんでもらうことができます。

## 椿の湯 施設改修のため一時休館 9月26日(火)～12月頃



休館する椿の湯

椿の湯は昭和59年の建設から30年以上がたち、施設や配管などの設備も改修が必要のため、一時的に休館し、施設改修工事を行います。道後温泉事務所 ☎921-5141・FAX934-3415

# 道後を彩るアートの大祭 道後オンセナート2018

## プレオープン 9月2日(土)～

道後温泉で開催されるアートイベント「道後オンセナート2018」が9月2日にプレオープンします。「アートにのぼせる～温泉アートエンターテイメント～」をテーマに、翌年4月14日のグランドオープン、翌々年2月28日のフィナーレまでの1年6カ月間、約20人のアーティストが作品を展開します。



大宮エリーさん



明和電機さん

【日時・内容】9月2日(土)。15時～=式典、15時30分～17時=作家・演出家・画家の大宮エリーさんのライブペインティング、18～19時=芸術ユニット・明和電機さんによるコンサート

【会場】道後温泉本館周辺予定



シラサギに扮し、作品に参加する浅田さん(右から2人目)

道後オンセナート2018の参加アーティストで写真家の浅田政志さんが7月6

### 写真家・浅田政志さんが道後温泉本館で作品撮影

### 地元エキスポートラ約100人が参加

日、道後温泉本館で作品撮影を行いました。今回の作品は、今の道後温泉本館と、道後を支え道後で働く皆さんを被写体に、まちのにぎわいを表現。浅田さん自身もシラサギに扮し、作品に参加しました。浅田さんは「道後の伝説や長い歴史に感銘を受けたので、それを現代にのみがえらせたかった。海外の人たちも含め、多くの人が道後の良さが伝われば」と話しました。

道後オンセナート実行委員会事務局 (道後温泉事務所内)  
☎921-6464・FAX934-3415



浮穴分団森松消防ポンプ蔵置所と生活用水兼用型耐震性貯水槽(左)

7月15日に行われた落成式で野志市長は「この蔵置所を地域防災の拠点として、地域の皆さんの安全・安心のため活動してほしい」と述べました。

23 閩公園緑地課 ☎948 6854・FAX934 87

### わくわくするような公園を願って

吉田奈央さん(難波小3年)

この公園に来る人が、わくわくした気持ちになってほしいと願ってこの名前を考えました。たくさんの人に楽しいと思ってもらえるような公園になるとうれしいです。



芝生の斜面で遊ぶ子どもたち

わくわくランドは瀬戸内海国立公園の「鹿島」を望める美しい公園で、ターザンロープや大型複合遊具があるほか、芝生の斜面を滑って遊ぶこともできます。式典後、早速地元の小中学生が思い思いに遊びだし、たくさん笑顔であふれていました。

## 松山城新能

【日時】9月14日(木)18時～(開場17時)  
【会場】二之丸史跡庭園(特設舞台)  
【内容】能(観世流) = 屋島▶仕舞(観世流) = 竹生島・海士玉之段▶狂言(大藏流) = 富士松  
【料金】指定席前売り料金 = 松席5,500円(当日6,000円)、竹席4,000円(当日4,500円)、梅席2,500円(当日3,000円)、学生席500円(当日1,000円)  
※立見席(当日のみ) 1,000円  
※指定席は500席で、残席がある



場合は当日券を販売  
【チケット販売所】いよてつ高島屋、フジグラン松山、南海放送チケットセンター、愛媛能楽協会事務局(発売中)  
閩観光・国際交流課 ☎948-6556・FAX943-9001

## 愛称決定 「波妻の鼻わくわくランド」オープン

北条青少年スポーツセンター研修施設跡地に整備を進めていた公園のオープンと愛称決定に合わせ7月22日、開園式典が行われました。

愛称は難波小学校3年生の吉田奈央さんが考案した「波妻の鼻わくわくランド」に決定。開園にあたり野志市長は「北条地域の新たなお出かけの場所として根付き、地域の宝として利用してほしい」と期待を寄せました。



瀬戸内の島々をバックに記念撮影